食育推進施策実施結果（平成25年度から平成29年度まで）

食育推進施策1　家庭における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
1	朝食毎日きちんと食べよう大作戦	保福（健推）	朝食欠食率の高い若い世代に対して、朝食の大切さの普及啓発を実施し、「第2次健康おかやま21」の目標である学童期の朝食摂取100%の達成に向けて、おにぎりづくりを中心とした普及啓発イベントを行う。	朝食を毎日食べる者の割合 小学生、中学生	朝食を毎日食べる者の割合 小学生、中学生 100%	事業名 朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日 平成25年8月2日 場所 岡山県南部健康づくりセンター 参加者 総社市内小学生24名、県知事、保健福祉部長、栄養委員、事務局員 内容 おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル（食育SATシステム）を使った体験実習 ○朝食を毎日食べる者の割合 小学生:94.0%　中学生:84.1%	事業名 朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日 平成26年8月6日 場所 岡山国際交流センター 参加者 新見市立正田小学6年生17名、県知事、栄養委員、事務局員 内容 おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル（食育SATシステム）を使った体験実習 ○朝食を毎日食べる者の割合 小学生92.2% 中学生86.3%	事業名 朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日 平成27年8月5日 場所 岡山県南部健康づくりセンター 参加者 真庭市立勝山小学6年生約35名、県知事、栄養委員、事務局員 内容 おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル（食育SATシステム）を使った体験実習 ○朝食を毎日食べる者の割合 小学生 92.3% 中学生 83.8%	事業名 朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日 平成28年8月4日 場所 岡山県南部健康づくりセンター 参加者 和気町立日笠小学校生徒25名、県知事、栄養委員、事務局員 内容 おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル（食育SATシステム）を使った体験実習 ○朝食を毎日食べる者の割合 岡山県計　89.8% 小学生　91.7% 中学生　85.3%	事業名 朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日 平成29年8月4日 場所 岡山県南部健康づくりセンター 参加者 エンゼルサマースクール（久米南町夏期児童保育）小3～6年生20名、児童保育関係者4名、久米南町長、久米南町課長、久米南町教育長、県知事、県部長、栄養委員、事務局員 内容 おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル（食育SATシステム）を使った体験実習 ○朝食を毎日食べる者の割合 岡山県計　89.7% 小学生　91.4%
2	「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン	教育（生涯）	早寝、早起き、朝ごはんなど、子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムの向上を一層推進するために、市町村をはじめ、学校、幼稚園やPTA等の関係団体、保健福祉部局等とも連携し、地域ぐるみで取組を推進する。			○キャンペーン月間 ・おかやま教育の日（11月1日）を含む1か月間 ○キャンペーン週間 ・5月、6月、9月、1月のうち、それぞれ2週間 ・学校園の取組：372学校園 ○キャンペーン月後の取組 ・優良活動表彰（7学校園）	キャンペーン月間 おかやま教育の日（11月1日）を含む1ヶ月間 キャンペーン週間 5月、6月、9月、1月のうち、それぞれ2週間 キャンペーン後の取組 6学校園所を優良活動表彰	キャンペーン月間 おかやま教育の日（11月1日）を含む1ヶ月間 キャンペーン週間 5月、9月、1月のうち、それぞれ2週間 キャンペーン後の取組 6学校園ほかを優良活動表彰	キャンペーン月間 おかやま教育の日（11月1日）を含む1ヶ月間 キャンペーン週間 5月、9月、1月のうち、それぞれ2週間 キャンペーン後の取組 6学校園他を優良活動表彰	キャンペーン月間 おかやま教育の日（11月1日）を含む1ヶ月間においで、チャレンジカード等を用いた家庭や学校での取組について啓発を行った。 キャンペーン週間 5月、9月、1月のうち、それぞれ2週間において、チャレンジカード等を用いた家庭や学校での取組について啓発を行った。 キャンペーン後の取組 9つの学校園他団体について優良活動表彰を行った。

食育推進施策2　地域における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
3	給食施設管理者・従事者研修会の開催	保　福（健推）	給食施設の管理者・従事者に対して、栄養管理・衛生管理等についての研修を行い、利用者の健康保持、増進を図る。			・「給食施設管理者教育研修会」 回数：8回 参加者：415施設450人 ・「給食施設従事者研修会」 回数：17回 参加者594施設945人 ・「岡山県特定給食関係者研修会 （岡山県給食協議会委託）」 参加者：1,152名（うち管理者115名） ・「岡山県栄養士研修会 （岡山県栄養士会委託）」 参加者：115名	・「給食施設管理者教育研修会」 回数：10回 参加者：408施設 510人 ・「給食施設従事者研修会」 回数：23回 参加者：702施設970人 ・「岡山県特定給食関係者研修会（岡　山県給食協議会委託）」 参加者：1，093名 ・「岡山県栄養士研修会（岡山県栄養士会委託）」 参加者：110名	・給食施設管理者研修会 回数：8回 参加者：367施設419人 ・給食施設従事者研修会 回数：18回 参加者：603施設915人 ・岡山県特定給食関係者研修会 （岡山県給食協議会委託） 参加者：1，009人 ・岡山県栄養士研修会 （岡山県栄養士会委託） 参加者：63人	・給食施設管理者研修会 回数：8回 参加者：306施設356人 ・給食施設従事者研修会 回数：18回 参加者：594施設804人 ・岡山県特定給食関係者研修会 （岡山県学校給食協議会委託） 参加者：1,148人 ・岡山県栄養士研修会 （岡山県栄養士会委託） 参加者：64人	・給食施設管理者研修会 回数：9回 参加者：361施設411人 ・給食施設従事者研修会 回数：19回 参加者：552施設774人 ・岡山県特定給食関係者研修会 （岡山県学校給食協議会委託） 参加者：1,030人 ・岡山県栄養士研修会 （岡山県栄養士会委託） 参加者：77人
4	健康づくり普及事業	保　福（健推）	「健康づくりのための食生活指針」の基本を踏まえて、住民の健康づくりに対する意識を高め、望ましい食習慣の定着を促進するため、地域の特性に応じた事業を実施する。			1　健康づくり普及教室 （1）栄養委員研修会 回数：232回 参加者：5,918人 （2）食生活講座 回数：1,642回 参加人数：42,500人 （3）一口運動 対象延人数：205,050人 2　健康づくり普及イベント 604回、50,583人	健康づくり普及教室 （1）栄養委員研修会 回数：476回 参加者：9,709人 （2）食生活講座 回数：1,813回 参加者：46,374人 （3）一口運動 対象延人数：144,430人 健康づくり普及イベント 回数：511回 参加者：40,900人	健康づくり普及教室 （1）栄養委員研修会 回数：431回 参加者8,714人 （2）食生活講座 回数：1,799回 参加者：46,286人 （3）一口運動 対象者延人数：144,722人 健康づくり普及イベント 回数：358回 参加者：37,803人	健康づくり普及教室 （1）栄養委員研修会 回数：438回 参加者：9,163人 （2）食生活講座 回数：2,095回 参加者：55,920人 健康づくり普及イベント 回数：411回 参加者：42,630人	健康づくり普及教室 ・栄養委員研修会 回数：453回 参加者：8,654人 ・食生活講座 回数：1,750回 参加者：40,666人 健康づくり普及イベント 回数：346回 参加者：33,384人
5	食育ネクストステージプロジェクト（H28～）	保　福（健推）	保健所・支所が中心となり、関係機関及び団体等と連携し、小・中学生を対象に、食育計画に掲げる目標「朝食を毎日食べる者の割合100%」を達成するための事業を展開する。						・ジュニア食育プロジェクト検討会 回数：14回 ・地域版朝食毎日きちんと食べよう大作戦 回数：5回　参加者：146人 ・食育の課題である「野菜摂取量の不足」にターゲットを絞ったリーフレット『食育ナビ～野菜編～』を作成	・ジュニア食育プロジェクト検討会 回数：17回 ・地域版朝食毎日きちんと食べよう 大作戦 回数：5回　参加者：173人 ・食育の課題である「塩分の過剰摂取」をターゲットに絞ったリーフレット『食育ナビ～減塩編～』を作成

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
6	ホームページ「第2次健康おかやま21」の充実	保 福(健推)	21世紀の県民健康づくり指針「第2次健康おかやま21(食育含む)」を広く県民に普及するために開設したホームページの充実を図る。			適宜更新を実施	適宜更新を実施	適宜更新を実施	適宜更新を実施	適宜更新を実施
7	おかやま食育推進協賛事業	保 福(健推)	地域で活動を行っている各種団体や、学校、企業、市町村等が行う事業で、食育推進の目的に沿って実施される事業を協賛事業として認定し、ホームページ等に掲載し活動を紹介する。よい事例は表彰を行う			おかやま食育推進協賛事業 10件認定 (当初からの認定数は40件)	おかやま食育推進協賛事業 11件認定 (当初からの認定数は51件)	おかやま食育推進協賛事業 10件認定 (当初からの認定数は61件)	おかやま食育推進協賛事業 7件認定 (当初からの認定数は68件)	おかやま食育推進協賛事業 10件認定 (当初からの認定は77件)

食育推進施策3 学校・保育所等における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
8	学校給食担当者等講習会	教 育(保体)	学校給食と食育(食に関する指導)の意義と役割について認識を深め、安全で魅力ある学校給食及び学校給食指導の充実を目的に実施する。			主催:岡山県教育委員会 共催:公益財団法人 岡山県学校給食会 対象:給食主任又は学校給食担当教諭等、市町村教育委員会の学校給食担当者等 期日:平成25年7月4日 場所:岡山県総合教育センター	―	・362名参加。 ・「学校の食育について」と題し、北九州市手をつなぐ育成会理事長小松啓子氏より講演をいただいた。 ・「学校給食の現状と課題について」と題し、指導主事が講義及び協議を行った。 ・「岡山県食の安全・食育推進計画について」と題し、健康推進課より講義をいただいた。 ・「栄養教諭を中核とした食育推進事業に取り組んで」と題し、実践発表を行った。	隔年実施のため、平成28年度は予定なし。	下記の研修会を開催した。 主催:岡山県教育委員会 共催:公益財団法人岡山県学校給食会 対象:給食主任又は学校給食担当教諭等、市町村教育委員会の学校給食担当者等 期日:平成29年11月13日 場所:岡山県総合教育センターにて開催。
9	岡山県学校給食研究協議大会	教 育(保体)	学校給食の意義と役割について認識を深め、その指導と管理運営の改善充実を図るため、当面する諸問題(衛生管理、栄養管理、健康問題等)について研究協議を行い、学校給食の充実発展と、職員の資質向上を図る。			主催:公益財団法人 岡山県学校給食会 共催:岡山県教育委員会 対象:学校給食関係者 期日:平成25年7月30日 場所:コンベックス岡山 840名参加	747名参加 講演「和食と給食」 講義「食育推進部会」「衛生管理部会」に分かれ、有意義な研修となった	・742名参加。 ・「最近の子どもの生活習慣・運動習慣・健康について」と題し、東海大学体育学部体育学科の小澤治夫教授より、講演をいただいた。 ・講義「食育推進部会」「衛生管理部会」に分かれ、有意義な研修となった。	平成28年8月17日 コンベックス岡山にて開催。 691人参加 ・講演「食物アレルギーの食事と管理 ～学校給食における食物アレルギー対応について～」日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会認定小児アレルギーエデュケーター 長谷川 実穂 ・「食育推進部会」「衛生管理部会(衛生及び異物混入防止対策)」に分かれて実施し、有意義な研修となった。	下記の研修会を開催した。 主催:公益財団法人岡山県学校給食会 共催:岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 学校給食関係者を対象として 平成29年7月28日に コンベックス岡山にて開催。

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
10	栄養教諭を中核とした食育推進事業	教　育（保体）	栄養教諭が中核となって、家庭や地域の団体等と連携・協力した食育の取組を行うとともに、家庭に対する効果的な働きかけの方策等について調査研究を行う。			「栄養教諭を中核とした食育推進事業」（地域は早島町）で実施。	「食育支援システムを活用した、健康な食習慣の確立及び自己管理能力の育成」 倉敷市立西阿知小学校 ①食に関する指導の授業実施（全学年） ②生活ふり返りシートを活用した生活習慣改善 ③食育支援システム（くらしき市版ヘルスジャッジ）を活用した食事内容改善 成果報告を冊子にまとめ県下に配付	「食育支援システムを活用した、健康な食習慣の確立及び自己管理能力の育成」 倉敷市立西阿知小学校 ①食に関する指導の授業実施（全学年） ②生活ふり返りシートを活用した生活習慣改善 ③食育支援システム（くらしき市版ヘルスジャッジ）を活用した食事内容改善 これらの成果報告と、学習指導案等（指導案・細案・ワークシート・板書計画など）を、保健体育課ホームページに掲載した。	・津山市において「岡山県食育スクールプロジェクト」を実施し、小学校と中学校が連携した取組や、共同調理場に勤務する栄養教諭の取組について研究した。 平成29年度には、その取組や成果報告を保健体育課ホームページに掲載し、県内に広める予定である。	
11	小学生を対象とした社会科副読本	農水（農産）	次世代を担う小学生を対象に本県の農林漁業の実態を正しく理解させるとともに、「食の大切さ」の認識を深め、「心の豊かさ」を醸成することを目的に、社会科副読本として作成・配布（岡山県農林漁業担い手育成財団助成事業）			児童用19,300部、教師用1,400部を作成、配布した。	―	廃止		
12	噛ミング30運動	保　福（健推）	小学校給食時にかみかみセンサーを用いての噛む回数を調べ、食べ物のかたい、軟らかいで回数がどれ位違うか体験することを通じて食育を学ぶ。		30学校園実施予定	学校園に歯科衛生士を派遣し、よく噛んで食べる習慣が形成されるよう35学校園で健康教育を行った。	35学校園を対象に2,506人に対し歯科保健指導と食育に関する指導を実施	31学校園、2,555人を対象に歯科保健指導と食育に関する指導を実施。	40学校園、2,183人を対象に歯科保健指導と食育に関する指導を実施。	31学校園、1,681人を対象に歯科保健指導と食育に関する指導を実施。
13	岡山県学校歯科保健研修会	保　福（健推） 教　育（保体）	学校歯科保健関係者を対象に研修会を開催し、資質の向上を図る。			学校関係者向けの月刊誌「心とからだの健康」に噛ミング30研究成果を発表。	323名参加 講演Ⅰ 「児童生徒の歯周病」 講演Ⅱ 「口呼吸が身体に及ぼす影響～あいうべ体操について～」		平成28年11月24日 岡山市民会館で実施 主催：歯科医師会、共催：県教育委員会 対象：養護教諭・教諭・栄養教諭等	
14	岡山県保育所食育に関する研修会	保　福（子未）	県内の保育所に勤務する栄養士、調理員、保育士等を対象に、健康で生き生きとした体づくりをめざす子どもの食生活や保育所全体で取り組む保育と一体となった食育のあり方について学ぶこと目的として実施する。					主催：岡山県保育協議会・岡山県保育協議会保育会 共催：岡山県 参加者数：栄養士、調理員、保育士等218名 期日：平成27年9月3日 場所：JA岡山　7Fホール	平成28年10月24日 JA岡山　7階ホールで実施 主催：岡山県保育協議会、岡山県保育協議会保育会 共催：岡山県 対象：栄養士、調理員、保育士、保育所関係者等	平成29年10月30日 岡山商工会議所　1階大会議室で実施 主催：岡山県保育協議会、岡山県保育協議会保育会 共催：岡山県 対象：栄養士、調理員、保育士、保育所関係者等

食育推進施策4　生産・流通等における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
15	栄養食品普及指導事業	保　福 (健推)	各保健所で講習会を開催し、加工食品・外食の栄養成分表示や保健機能食品制度に関する知識の普及を図る。			○栄養表示基準制度講習会 回数:11回　参加者:350人 ○相談指導:25人	適宜相談に対応	食品表示法及び健康増進法に基づき、事業者等からの相談に適宜対応した。 1　個別指導 (1)食品表示法　54件 (2)健康増進法　4件 2　集団指導 回数:4回 人数:266人	食品表示法及び健康増進法に基づき、事業者等からの相談に適宜対応した。 1　個別指導・相談 (1)食品表示法　60件 (2)健康増進法　4件 2　集団指導 回数:9回 人数:305人	講習会 ・まちなか講習会 回数:22回 参加者:960人 ・「あなたの食生活お支えし隊」養成講座 回数:10回 参加者:234人 表示相談 ・個別指導 食品表示法:70件 健康増進法:17件 ・集団指導 回数:13回 参加者:446人
16	食環境整備事業 「栄養成分表示の店」登録事業	保　福 (健推)	飲食店で提供しているメニュー(献立)のうち、提供頻度の高い献立5つ程度について、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量を表示する店舗の登録を行い、食を通じた健康づくりを推進する。 併せて、おいしーヘルシー提供店の健康的なメニュー開発を支援する。	栄養成分表示に協力する施設の数	栄養成分表示に協力する施設の数	栄養成分表示の店登録数 1,043施設(H26.3.31現在)	栄養成分表示に協力する施設の数 1,034施設(H27.3.31現在)	栄養成分表示に協力する施設の数 1，126施設(H28.3.31現在)	栄養成分表示に協力する施設の数 1,106施設(H28.3.31現在)	栄養成分表示に協力する施設の数 1,144施設(H29.3.31現在)
17	学校給食用牛乳供給事業	農　水 (畜産)	(学校給食用牛乳の供給) 安全で質の高い県産牛乳を学校給食に継続して安定供給することで、児童生徒の体位体力の向上と牛乳の消費拡大に資する。		(学校給食用牛乳の供給) 571校、171,909人へ32,151,705本 (200cc換算)を供給予定	(学校給食用牛乳の供給) 592校、174,247人へ32,145,490本(200cc換算)を供給予定	587校 174,011人 32,209,846本	(学校給食用牛乳の供給) 587校、172,305人へ31,303,340本 (200cc換算)を供給	(学校給食用牛乳の供給) 578校、171,399人へ30,883,852本 (200cc換算)を供給	―

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	平成29年度目標値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
						結果				
18	市民農園や空き農地等を活用した体験の推進	農　水（農振）	市民農園や空き農地等を利用して、消費者自らが農産物を生産することにより、安心・安全な食材の供給、地産地消の推進を図る。			市民農園設置1カ所	調査中	市民農園設置（2カ所）支援	―	―
19	食料自給率向上県民運動の推進	農　水（農企）	食料自給率向上に向けた県民運動として、食料自給率向上月間の設定、講演会の開催など、各種啓発活動を実施し、県民の食料自給率に対する関心の醸成を図る。			・岡山あぐり総合フェア及び食料自給率向上推進大会の開催・食料自給率向上推進大賞表彰式（10/20） ・啓発チラシ、野菜の種の街頭配布（10/1外） ・県庁舎への懸垂幕の掲示（10月）	岡山県林漁業功労者表賞表彰式（10月） 県庁舎への懸垂幕の掲示（10月）	ラジオ放送での啓発（10月）	県庁舎への懸垂幕の掲示（10月）	10月に県庁舎へ懸垂幕を掲示し、食料自給率向上について啓発を実施した。
20	地産地消の推進	農　水（農企）	「自分たちの住む地域で作られたものを、その地域で消費しよう」をキーワードに、生産者と消費者の相互理解を深め、安全で安心な県産農林水産物の安定供給と消費拡大を目指す。			・「おかやま地産地消の日」の普及・定着 ・地産地消協力店の登録拡大 ・直売所の運営支援 ・地産地消おかやま村の開催 ・学生を対象とした出前講座 ・コンビニ等との連携	県庁食堂での地産地消定食の提供、メルマガでの啓発 地産地消登録店数 H26.3末304店→H27.3末330店	・県庁食堂での地産地消定食の提供、メルマガでの啓発 ・地産地消登録店数 H27.3末330店→H28.3末342店	・メルマガでの啓発 ・地産地消登録店数 H28.3末342店→H29.3末356店	・メルマガでの啓発 ・地産地消登録店数 H29.3末356店→H30.3末376店
21	米の消費拡大	農　水（農企）	米を中心とした栄養バランスに優れた「日本型食生活」を定着させるため、今後の食生活の動向に大きな影響を及ぼす若い世代に重点を置き、米の重要性の啓発とごはん食の普及を進める。			1　ごはん食出前講座 ・対象：栄養教諭、学校栄養職員等 ・1カ所 2　親子でごはんモリモリ講座 ・対象：小学生と保護者 ・3カ所	岡山シーガルズ「県民応援デー」での、岡山米のPR（11/22）	・岡山シーガルズ「県民応援デー」での、岡山米のPR（10/31）	・岡山シーガルズ「県民応援デー」での、岡山米のPR（11/26）	・岡山シーガルズ「県民応援デー」での、岡山米のPR（11/25）
22	食品ロス・家庭ごみ削減促進事業	環　文（循環）	食べきれるのに破棄される「食品ロス」を中心とした家庭ごみの削減を進めるなど、多方面への啓発を展開する。							①みんなでチェック！わが家のごみ 217家庭が参加し、200家庭からの報告があった。ごみの重さを量ることで、食品ロス等への意識を高めることができた。 ②おかやま30・10運動 「のこさずたべる」という意識啓発を図った。